

選考試験 専門記述式問題（歴史学芸員（博物館学））

問題 1

博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）第 2 条第 1 項に基づき、博物館は「資料」に関してどのようなことを行う（行わなければならない）ところであるか説明しなさい。

問題 2

博物館法第 2 条第 3 項において、「博物館資料」について記されている。ここでいう「博物館資料」について説明しなさい。

問題 3

博物館法第 3 条第 2 項には、「博物館は、その事業を行うに当っては、（ ① ）を考慮し、（ ② ）の向上に資し、更に（ ③ ）を援助し得るようにも留意しなければならない。」とある。空欄①～③に当てはまる用語を条文のとおり正確に記述しなさい。

問題 4

資料保存の観点から、温度・湿度の調整以外に、資料を展示する際に留意すべきことを 2 つ挙げ、説明しなさい。

問題 5

博物館経営（ミュージアム・マネージメント）とは、「運営のプロデュースと、それを貫く思想としての“もてなし”の演出である。」との考え方がある。博物館における利用者に対する“もてなし”について、学芸員はどうすべきか説明しなさい。

問題 6

博物館は、様々な「もの」、「現象」をもとに「情報」を創造するところであるとされる。既につくられた「情報」を発信するだけでなく、質の高い「情報」をいかに創造するのかが、今、博物館（学芸員）に求められている。博物館における「情報」にはどのようなものがあるか。また、それらの「情報」を創造・発信するに当たっての留意点・課題等について説明しなさい。